

## 印西大師 第83番 押付・薬師堂

- 1 名称 (No.083)〔手引鏡：薬師堂〕〔資料館：薬師堂〕〔行程表：薬師堂〕
- 2 場所 印西市押付10 押付薬師堂  
佐野屋墓地から道程約320m  
宮ノ前から道程約690m  
GPS座標 35.82169362398632, 140.20899984674017
- 3 由緒 薬師庵  
押付新田字堤下にあり 天台宗にして南陽院持  
なり 薬師如来を本尊とす 由緒不詳 檀徒14人  
(印旛郡誌)
- 4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が2体  
(4体?)あり。
- 5 境内 大師堂のまわりは薬師堂と墓地。三義侠者の墓もある。
- 6 写真 (2019.06、2022.10撮影)



大師堂



御大師様



前右の小像も御大師様?



三義侠者の墓



左奥も御大師様?



大師堂の前の道路

## 7 情報

## (1) 印西大師 第83番 薬師堂 御詠歌 (泉倉寺本による)

讃岐一宮の御前に仰き来て 神の心を誰か白帛(しらこう)

四国八十八ヶ所 第83番 真言宗御室派 神毫山(しんごうざん) 大宝院 一宮寺(いちのみやじ) 写し  
泉倉寺本には「讃岐一の宮写し」とあり。

## (2) 三義侠者の墓

笠神の南陽院に三義侠者の碑があります。その碑文の大意は次のとおりです。

隣村小林村との入会地だった利根川印旛沼畔の葦原「埜原」の帰属をめぐり、明暦2年(1656)、笠神村の鈴木庄吉・岩井五兵衛・岩井源右衛門の3名が小林村にただしに行ったところ、竹槍のようなものを持った小林村民に囲まれ、格闘となり数名の死傷者を出してしまっ

た。3人は自首し、同年12月2日に磔刑となったが、三人の主張通り、埜原は笠神村のものとなり、後に築堤と開発で豊かな田圃となった。笠神村民は小さな墓を建て、毎年十夜の法要を236年間行い、おかげで村は豊かに栄えてきた。（「さわらびYの歴史・民俗・考古探索ノート」HPより）